AVB-Dante-AES67

ハイエンド会場向けの複雑な技術ギャップをブリッジ

レイテンシーを一切妥協せず、多チャンネルの音声をシームレスに管理

ニーズ

スイスに新たに誕生した民間運営の会場「ミレニアムセンター」は、最先端のエンターテインメント施設と充実した設備を備え、多彩なサービスを提供しています。この高度に洗練された施設には、先進技術を取り入れた高水準のネットワークオーディオ管理の導入が求められています。

特に大規模なシネマホールでの没入型オーディオ体験においては、多チャンネルかつ複数の技術・プロトコルに対応可能な、大規模オーディオシステムへの深い理解と高度な運用が不可欠となります。

課題

ミレニアムセンターの技術チームは、このプロジェクトの複雑さゆえに大きな課題に直面しています。

まず、ミレニアムセンターには異なるプロトコルで動作するシステムが導入されており、膨大なチャンネル数を持つ大型のAVBスピーカーアレイを、Danteで動作するマスターコンソールと相互接続する必要があります。 さらに、没入型オーディオシステムはAES67プロトコルで動作しており、選定されたAVBおよびDanteの構成とは本来互換性がありません。

これらの複雑な相互接続の課題に加え、会場の規模に対応するためにシステム全体で多数のチャンネルをサポートできることが求められています。さらに、あらゆる潜在的なレイテンシーの問題を排除するために、完全な同期も保証しなければなりません。

利点

- Milan™認証による信頼性
- 高チャンネル数対応
- スケーラブルで、音質や信号の完全性を損なわない
- レイテンシーなし
- AVB、Dante、Dolbyに対応したデジタルシステム
- コスト効率に優れた高度なオーディオ管理

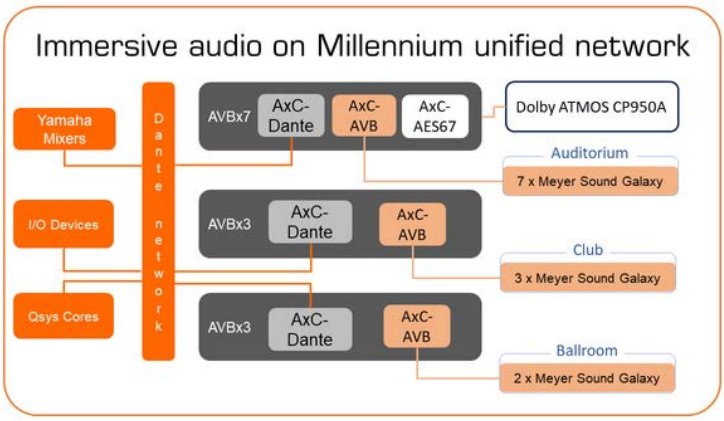
ソリューション

当初は相互接続の問題を回避できているように見えましたが、単発的な対策では根本的な課題を解決できていませんでした。具体的には、遅延（レイテンシー）の問題やチャンネル数の制限が依然として残っており、ミレニアムセンターの技術チームは不完全なシステムを使い続けるしかありませんでした。そこで、AuviTranが本プロジェクトの重要な要件であるAVB、Dante、AES67の各プロトコルをシームレスに橋渡しできる多機能なブリッジシステムとして選ばれました。

ミレニアムセンターには複数のAuviTran ToolBoxと、AxC-AVB、AxC-AES67、AxC-Danteといった専用のAxCカードが導入され、必要に応じて各種プロトコル間の接続問題を解消しています。

AuviTranの巧みなシームレスソリューションは、単に互換性の問題を解決するだけでなく、システムの性能を大幅に向上させました。その結果、ローザンヌにあるこの施設は、Milan™ AVB規格に準拠した複雑な音響システムを世界でいち早く成功裏に運用する施設のひとつとなりました。

このソリューションにより、洗練された聴衆の期待に応える、他に類を見ない没入型オーディオ体験の提供が可能となっています。



AuviTran
84 Allée Galilée - F-38330 Montbonnot Saint Martin
sales@auvitran.com

ArtWiz 株式会社アートウィズ
134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2

sounds like DIGIGRAM
AuviTran, a Digigram company